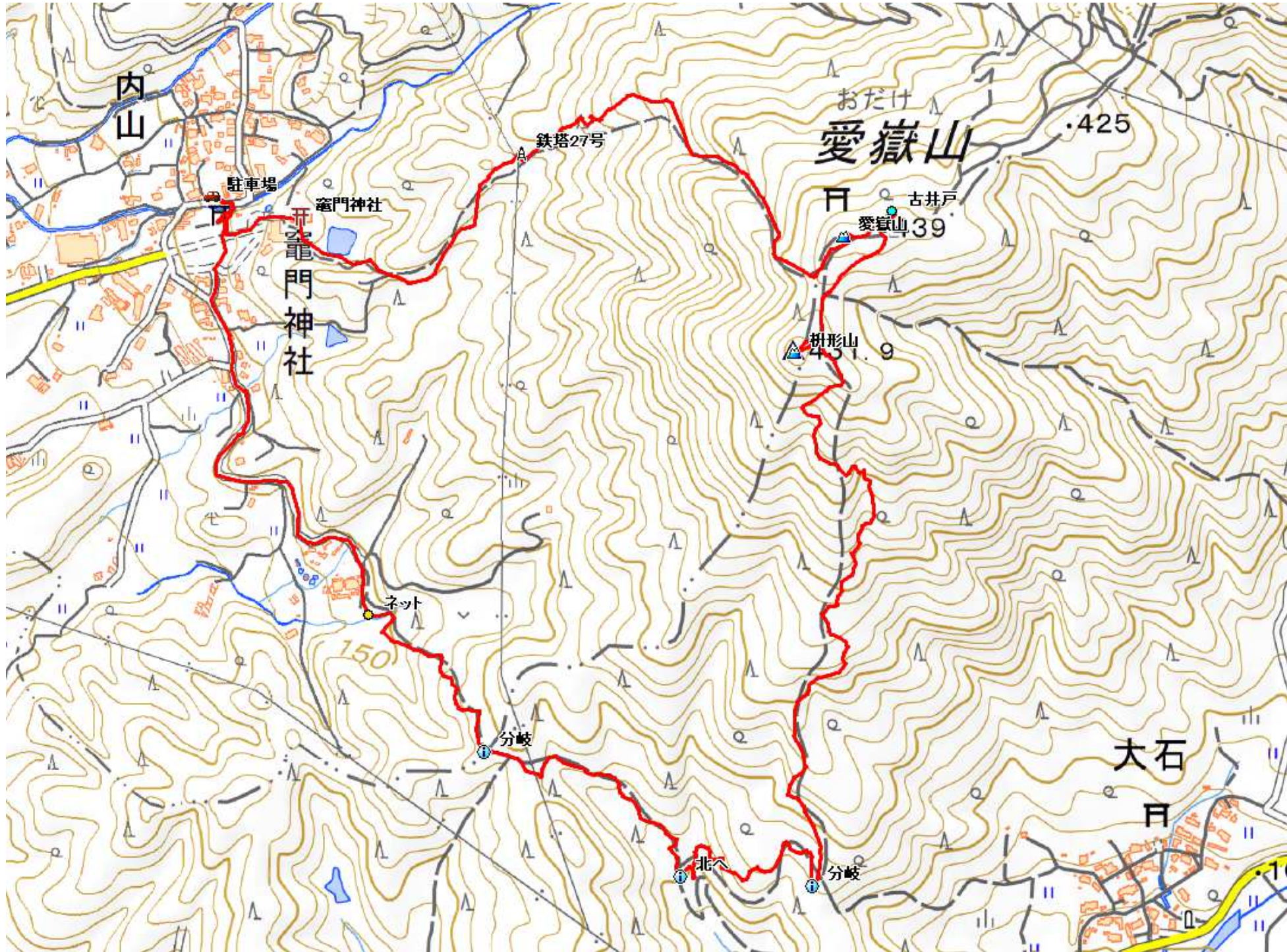


211126 おだけさん 愛嶽山(439m)

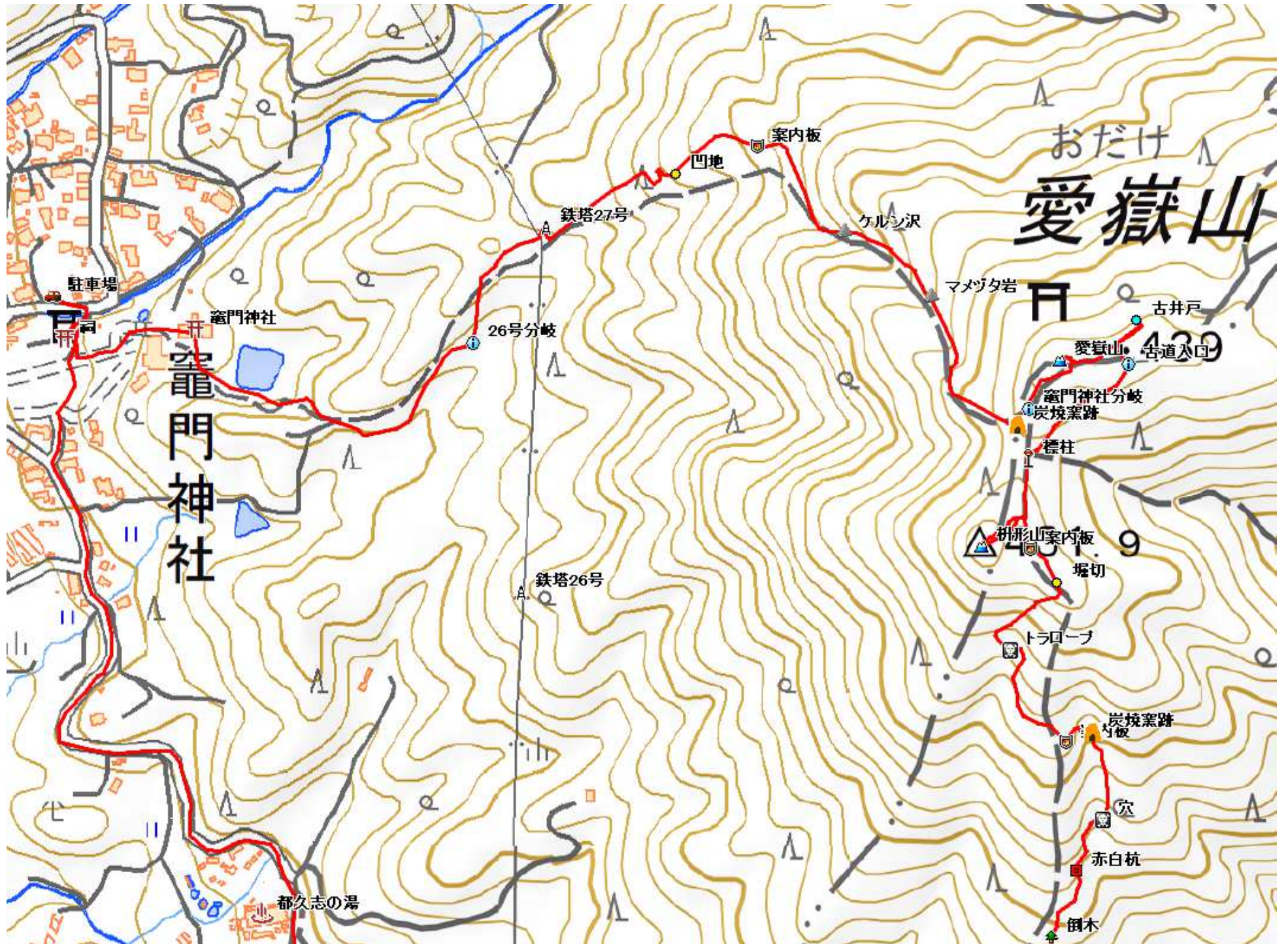
5.3 km 2時間59分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。



- 駐車場
- ↓ 0:05
- 竈門神社
- ↓ 0:13
- 鉄塔27号
- ↓ 0:33
- 愛嶽山(439m)
- ↓ 0:07
- 古井戸
- ↓ 0:13
- 枡形山(432m)
- ↓ 0:42
- 分岐
- ↓ 0:19
- 北へ
- ↓ 0:17
- 分岐
- ↓ 0:13
- ネット
- ↓ 0:17
- 駐車場

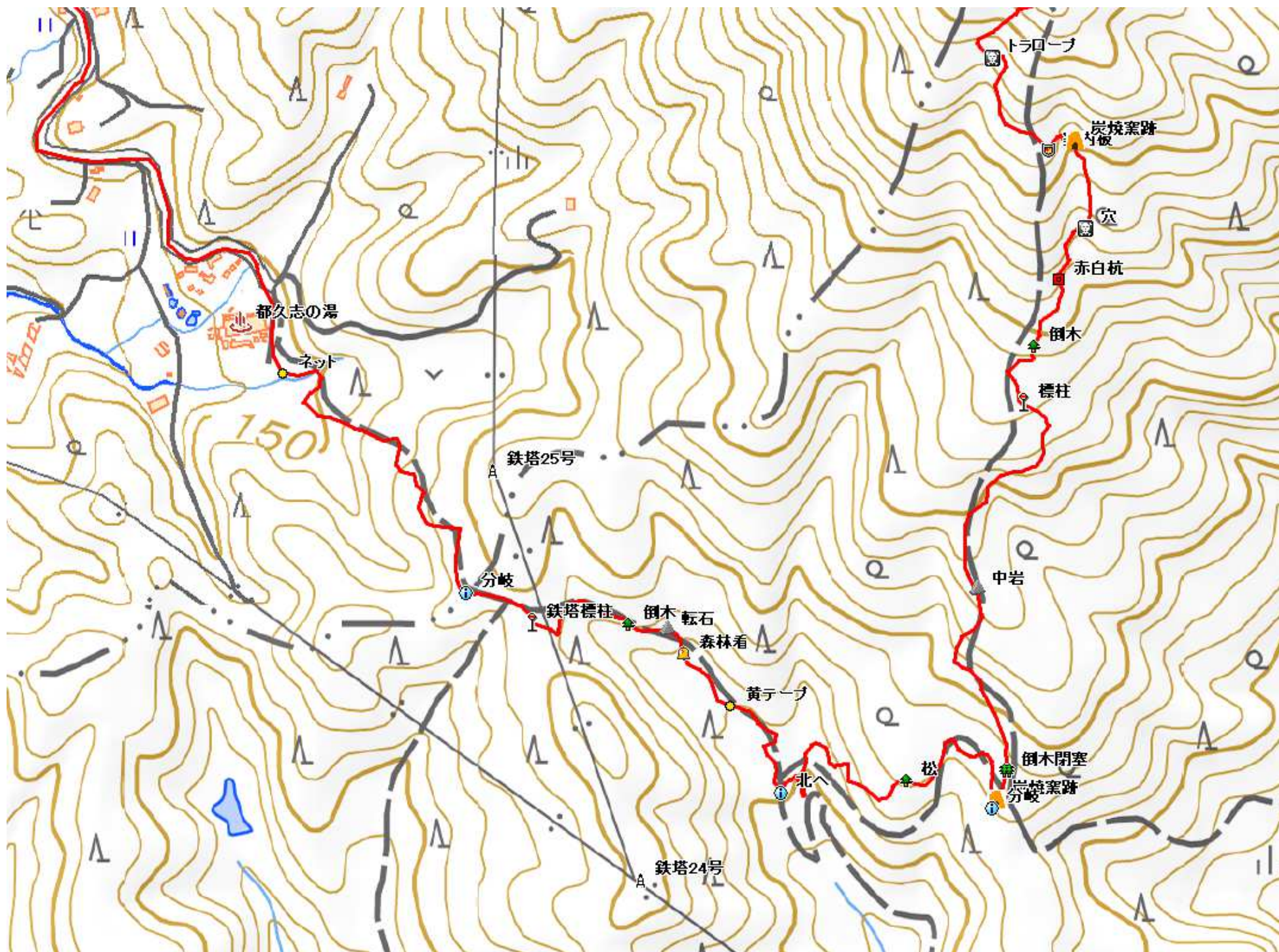


211126愛嶽山(439m) 詳細図 上部





211126愛嶽山(439m) 詳細図 下部





愛嶽山(439m) 2021.11.26(金)晴れ

駐車場→竈門神社→鉄塔27号→愛嶽山(439m)→古井戸→柘形山(432m)→分岐→北へ→分岐→ネット→駐車場



竈門神社近くの民間駐車場に車を止め竈門神社へ向かう。



参道に行く。



竈門神社に参拝する。



神社南側の舗装路を上って行く。



26号分岐に出会う。



傍に立つ鉄塔標柱。



プラ階段を上って行く。



鉄塔27号を見上げる。



凹地に行く。



左に案内板を見る。



沢沿いに進む。



ケレン沢に行く。



その先でマメツタ岩を見る。



右に炭焼窯跡を見る。





幹にテープが巻かれた**龍門神社**分岐を通過する。



尾根筋を緩く上って行く。



急石段の上部に上り詰める。



愛嶽山神社の**祠**に参拝する。



背後の高地に**愛嶽山(439m)**の山名板を見る。



急石段を下る。



鉄鳥居を抜ける。



北側の尾根に上り弱い**コル**を通過する。



台地地形に**トラロープ**が張られ**石組**が見える。



土砂が堆積した**古井戸**を見る。



引き返し**古道入口**に出会う。



傍に立つ案内板。



山腹を南西に進む。



山側に**標柱**を見る。



南西斜面に取付き上って行く。





枅形城跡の開削台地に上り上がる。



枅形山(432m)に到着。明治30年選定の三等三角点:愛嶽山を見る。



周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



引き返し古道を南へ進む。



山側に案内板を見る。



所々で標柱を見る。



堀切地形を抜ける。



傍に立つ案内板。



緩斜面に張られたトラロープを通過する。



滑りやすい下り斜面にもトラロープが垂れている。



右に案内板を見る。



炭焼窯跡を左に見送る。



弱いヤブを抜ける。



足元にポカリと空いた穴に注意する。



古道を緩く下って行く。





古びた赤白杭を見る。



クスの大木を見上げる。



倒木を潜り抜ける。



右に標柱を見る。



古道地形の凹地を進む。



中岩の右を抜ける。



雑木斜面を緩く下って行く。



古道前方に土砂崩れが現れた。



倒木閉塞を抜ける。



抜け出て古道地形を緩く下って行く。



右に炭焼窯跡を見る。



分岐 古道は左カーブして大石に至る。地形図の破線を行くため右折する。



分岐の様子 右の凹地を下って来て、転回し左の植林地の破線小径へ進む。





切り出した石材が積まれている。  
この先で小径がなくなった



獣道なのか？弱い踏み跡を踏跡を辿る。



弱い支尾根上にマツの木2本を見る。



植林斜面を北西方向に下って行く。



弱い沢を下って行く。



林道に出合ってしまう。林道を右に進み北上してもよい



北西斜面を上り北上してきた林道に出会い、北へ進む。



植林際に沿うように緩く上って行く。



凹地地形を進むと、古い黄テープを見る。



右に森林看板を見る。



転石の左を通過する。



倒木を通過する。



前方進行方向が左カーブしている。



凹地を緩く上って行く。



左に鉄塔標柱を見る。





南東に上って来た凹地を振り返る。



北西に進む。



植林の中、破線路を行く。



左に鉄塔標柱を見ると分岐に出合う。



南西方向に尾根道が伸びているが、踏み込まない。



波線を辿って北北西へ進む。左の幹に赤テープを見る。



間伐地を行くが、波線地形は見当たらない。



間伐地を北方向に下って行く。



傾斜が緩んで来た。



幹に巻かれた赤テープを辿り下って行く。



振り返ると僅かに凹地地形が残っている。



作業路跡を下って行く。



北東へ右カーブして小径を下って行く。





沢に出会い右岸へ向かう。



右岸沿いに下る。



ネットを抜け出る。



緩く坂道の上って行く。



都久志の湯を通過する。



南東に鉄塔25号と24号を振り返る。



道なりに進む、



西南西に脊振山を望む。



西北西に四王寺山を望む。



裏道に入る。



竈門神社境内に入る。



紅葉を見上げながら北へ進む。



駐車場へ帰り着いた。

愛嶽山山腹の地形図波線を辿ってみた。

大石側は、大石愛嶽古道として標柱も見られるが古道地形も亡失しつつある。

大石愛嶽古道から外れる波線は、林道終点出合迄が入口と出合付近に残るだけでトレースできなかった。

尾根筋の鉄塔標柱から北西の波線は分岐までは古道であるが、その先植林で波線に沿うように下るが見出せなく下り、緩くなって振り返ると弱い凹地形が認められた。





シマカンギク



マムシグサ 実



ナンテン 実



イズセンリョウ 実



ヒラギモクセイ 実



ヒョドリショウゴ 実